



平成27年 水稲管理情報 No.1 (4月発行)

日増しに、暖かさが増し、平成27年度も水稲の育苗の時期となりました。

1. 育苗

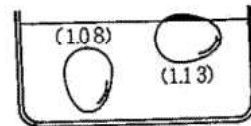


1) 塩水選の徹底

- ・不良な種籾を取り除くため、塩水選を徹底してください。
- ・不良な籾で育った苗は、田植え後も同化能力が劣り立派な稲に育ちません。
- ・塩水選をすることで、出芽そろいもよくなります。
- ・購入した種子籾も実施する必要があります。

	比重	水18リットル		備考
		食塩	硫安	
うるち	1.13	3.6g	5.2kg	塩水選後はよく水洗いする。
もち	1.08	2.2g	2.9kg	

生卵による
比重測定法



2) 育苗期間のハウス内温度管理に注意！

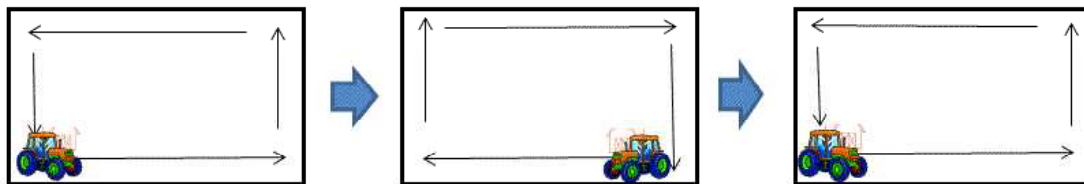
今年の3月の気温（アメダス竹田）は前半は平年よりも低く推移してきましたが、後半は平年値を上回っています。九州北部の1ヶ月予報では、気温は平年並であるが、晴れの日がやや多いとされています。晴れの日には朝と昼の温度差が大きいので、育苗ハウスの温度管理をこま目に行ってください。

3) かん水は午前中を中心に！

かん水は午前中を中心に行うよう心がけてください。昨年、一昨年のように4月～5月上旬に寒い日が続き、苗丈が低い場合は夕方のかん水は培土を冷やすため厳禁です。

2. 耕起・代掻き

昨年は、同一圃場内で、耕深（作土深）の差があつて、深いことではアオミドロ（通称：オンドロ）がはびこり、分けつが進まず、浅いところと初期生育の差が大きくなるといった事例が見られました。最近ではトラクターの馬力も大きくなり、毎年同じ方向で作業すると特定の場所に土が寄り耕深の差がより大きくなる恐れがあります。該当する圃場では下図を参考に、作業方向を逆にするなどの工夫を行ってください。



荒起し

荒代

植代

荒起しとは反対方向に！

荒代とは逆方向に！